

第44回

全国ホタル研究大会

6/10(金)～12(日)、

全国ホタル研究大会岡山県かがみの大会が行なわれ、全国各地からホタルの研究や保護活動を行なう130人が参加しました。この大会はホタルの研究や環境保全の活動報告、意見交換の場として、全国ホタル研究会が毎年開催しています。ホタルの保護や増殖、環境づくりについて意見が交わされ、夜は、町内の郷地区や中谷地区でホタルを観察しました。研究大会では、講演や研究発表が行なわれ、薪森原のホタルを育む会の藤本信男さんが、郷川に発生するホタルの保護活動15年の歩みについて発表し「ホタルを通じて環境の大切さを知ってもらいたい」と話しました。



発表する藤本信男さん



全国からの参加者



ひらめ釣大会

6月19日(日)富地域の白賀溪谷で、ひらめ釣大会が開かれ県内はもとより、隣の兵庫県から参加した太公望が自慢の腕を競い合いました。

今回は、釣り大会のために富地域の養魚場で育ったひらめ250kgおよそ2,500尾が放流されました。

日曜とあつてお父さんとともに小さな太公望たちも、真剣な表情で大物を狙っていました。

